

## 第47回木材の化学加工研究会シンポジウム開催のご案内

### 『木材の化学加工のHigh（高）Knowledge（知）』

主催：一般社団法人 日本木材学会 木材の化学加工研究会

協賛：産総研コンソーシアム持続性木質資源工業技術研究会，（公社）日本木材加工技術協会，（公社）日本木材保存協会，高知県立森林技術センター

各位

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本木材学会 木材の化学加工研究会では、下記の日程で第47回木材の化学加工研究会シンポジウムを開催いたします。つきましては、この機会に多くの方々に是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。敬具

日程：平成29年10月26日（木）～27日（金）

会場：オリентホテル高知 松竹の間

〒780-0861 高知県高知市升形5-37, TEL 088-822-6565

<http://www.orienthotel.jp/index.php>

会費：講演会（一般4,500円，学生2,000円：講演集代を含む）

見学会（2,000円），懇親会（6,000円），講演集（1,500円）

10月26日（木）

<シンポジウム>

受付 13:00～

開会挨拶 13:30～ 巽 大輔（九州大学大学院 農学研究院・当研究会代表幹事）

1) 13:35-14:05 市浦 英明（高知大学教育研究部自然科学系農学部門）

「紙への化学的処理手法を活用した機能紙の創製とその応用展開」

本講演では、紙への化学的処理手法として、紙表面上で機能材料を直接合成する技術およびイオン液体を活用した技術について紹介する。これらの技術を活用した応用展開として、温度に応答して機能発現するインテリジェント機能紙および水環境下でも使用可能な機能紙が挙げられる。これらの機能紙の機能性およびその応用について紹介したい。

2) 14:05-14:35 宇高 英二（香川県産業技術センター）

「セルロースナノファイバー水懸濁液への電圧印加」

本研究では、セルロースナノファイバー（CNF）の水懸濁液中における電気的な特性を調査した。CNFの水懸濁液に電圧を印加したところ電流が流れ、その電流値はCNFの種類で異なり、さらにはCNFが陽極に移動する性質を持つことを見いだした。この性質を利用して水懸濁液からのCNFの分離を試みたところ、減圧濾過よりも短時間で分離できる可能性が得られた。

（休憩 14:35～14:45）

3) 14:45-15:15 鶴田 望 (高知県工業技術センター)

「木材等を利用した新商品の開発」

木材は、古くから建築材や家具、道具など日用品に幅広く使われてきた。高知県工業技術センターにおいても様々な分野への木材の利用を検討してきた。特に木材等を活用した自動車内装材関連の技術開発について、当センターが県内企業と協力して開発してきた研究を紹介する。

4) 15:15-15:45 上田 道秋 ((一社)こうち健康・省エネ住宅推進協議会)

「高知県における SWP 開発への取り組み」

(一社)こうち健康・省エネ住宅推進協議会では、地域木材産業活性化をめざし、「産学官」連携体制にて高知県産材による高付加価値建材である、幅はぎパネル製品名「SWP」の開発に取り組んでいる。H26年に防火構造の大臣認定を取得し H28年に構造用途への利用を可能とするため壁倍率の大臣認定取得を行い、現在その利用普及の取り組みを行っている。開発のねらいやその背景、製品の品質・性能・特徴、普及の取り組みなどを紹介する。

5) 15:45-16:15 乃一 広志 (高知県木材産業振興課)

「高知県における CLT 建築物の推進について」

CLTは、これまで、あまり木材が利用されてこなかった非住宅の建築物への利用が可能な木質資材であり、木材の需要拡大が期待されている。高知県では全国に先駆けてCLT建築推進協議会を設立し、CLT建築に必要な実証実験などに取り組み、CLTの建築を進めている。本講演では、高知県におけるCLT建築物の普及の取組、これまで高知県内で建設されたCLT建築物の工法の特徴、実証実験などについて紹介する。

(休憩 16:15~16:25)

6) 16:25-16:55 原田 寿郎 ((国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所四国支所)

「木質構造材料への防耐火性能付与技術」

建築基準法の改正により木質構造材料を耐火建築物に使用することが可能となり、また、公共建築物等木材利用促進法の施行ともあいまって、構造材料として建築物に木材を利用する事例が多く見られるようになった。今、話題のCLTをはじめとし、各種木質材料を用いた柱・梁・壁・床など構造部材に1時間耐火構造などの防耐火性能を付与する技術開発の現状と、それらを用いた建築物の事例について紹介する。

7) 16:55-17:25 片山 健至 (香川大学農学部)

「熱帯産森林バイオマスの生物活性成分の探索」

熱帯産森林バイオマスを高度利用するために、その抽出物の生物活性を探索した。バイオディーゼル燃料用植物ジャトロファ(タイ産)の種子搾油カスから、抗酸化性の8種のカテコール型リグナン類を単離した。主生成物のイソアメリカノールAの抗ガン作用も明らかにした。また、インドネシア産の *Syzigium cumini* 等6種の未活用果実及び薬用植物 *Graptophyllum pictum* の抽出物の抗酸化性、抗糖尿病活性、抗高脂血症活性について述べる。

<懇親会> 18:00~20:00 会場：オリエンホテル高知 松竹の間

10月27日(金)

<見学会>

8:40	集合・出発	8:40 オリентホテル高知前, 8:50 はりまや橋付近 ※集合場所の詳細は、講演会にてお知らせします 貸切バス移動
9:30	高知県森林組合 連合会県連会館	軸組+CLT 建築物である県連会館の見学, 紹介 DVD 視聴
10:30		貸切バス移動
10:45	株式会社ミロク テクノウッド	竹製ハンドル製造工程の見学, 説明
11:45		貸切バス移動 ※希望者はタクシーで高知空港へ(約20分)
12:50	解散	12:30 JR 高知駅前, 12:50 オリентホテル高知前

■講演会, 懇親会場所の周辺地図

講演会: オリентホテル高知 松竹の間  
(JR 高知駅で路面電車に乗り換え  
「グランド通り」電停下車すぐ)  
懇親会: オリентホテル高知 松竹の間

※10月26日のご宿泊用にシンポ・懇親会会場のオリентホテル高知にシングル(一泊5,700円, 朝食付き税込)20部屋をお取り置きいただいています。ご予約時に「木材の化学加工シンポ参加」の旨お伝えください。なおご予約はホテルに各自で直接電話をしてください。20部屋は申込先着順ですので、空室がなくなった際にはご容赦ください。



※ **参加申込**: 10月18日(水)までに下記事項を添えて, E-mail 又は FAX で木材の化学加工研究会事務局(森林総合研究所内)宛お申し込みください。

※ **参加申込記入事項**: ①氏名, ②勤務先, ③所在地, ④講演会参加の有無と一般・学生の別, ⑤懇親会参加の有無, ⑥見学参加の有無, ⑦電話番号, ⑧FAX 番号, ⑨E-mail アドレス, ⑩次回案内送付のご希望の有無

※ **申込先**: 〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材改質研究領域 木材の化学加工研究会事務局  
松永 正弘 (TEL: 029-829-8295, FAX: 029-874-3720, E-mail: cla@ffpri.affrc.go.jp)

※ **問合せ先**: 〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平80番地

高知県立森林技術センター 次長

高橋 尚也 (Tel: 0887-52-5105, Fax: 0887-52-4167, E-mail: naoya\_takahashi@ken4.pref.kochi.lg.jp)

※ **個人情報の取り扱いについて**: お送りいただいた個人情報は適切に管理し, 案内の送付に限って使用させていただきます。

# F A X 送信状

F A X 宛先：(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材改質研究領域  
(木材の化学加工研究会 事務局) 松永正弘

F A X 番号：0 2 9 - 8 7 4 - 3 7 2 0

## 第 4 7 回木材の化学加工研究会シンポジウム参加申込書

申込代表者氏名			
勤務先			
所在地	〒		
電話		F A X	
E-mail			

氏 名	講演会 (講演集合む)		懇親会 6,000 円	見学会 2,000 円		講演集 (追加・別途) 購入 1 冊 1,500
	一般 4,500 円	学生 2,000 円		オリエント ホテル高知 で乗車	はりまや 橋で乗車	
備考欄：(高知空港へのタクシー手配の希望がある場合は、その旨記載してください)						

1. 希望、該当する欄に○印を付けて下さい。なお、見学会については、同業他社のご参加をお断りする場合があります。
2. 見学会に参加される方は、貸切バスの乗車希望場所のいずれか一方に○印を付けて下さい。
3. ミロクテクノウッド見学終了後(11:45)、高知空港へ直接移動を希望の方にはタクシーを手配しますので、その旨を備考欄にお書きください。なお、タクシー代は自己負担となります。
4. 講演集のみを希望の方は、講演集追加購入欄に冊数を記入して下さい。宅配便でお送りします。
5. 参加費等は、当日、受付でお支払い下さい。
6. 申込締切は、10月18日(水)です。

[次回シンポジウムのご案内について]

案内の送付をご希望にならない場合は、次のボックスにチェックマークをご記入ください。

案内送付を希望しない